

各行政目的を達成するために行政担当者が実施する作業

1. 行政目的

基本的な 行政目的	行政目的 1	未管理浄化槽に対する指導
	2	苦情や問い合わせに対する対応
	3	法定検査受検促進と不適正浄化槽の改善指導
	4	みなし浄化槽の合併処理浄化槽への転換
	5	関係官公庁へ提出する統計情報の整理
拡張的な 行政目的	行政目的 6	生活排水処理計画等の見直し
	7	し尿・浄化槽汚泥処理計画
	8	災害時の早期復旧・適正処理
	9	機能不全浄化槽の改善
	10	公共浄化槽の長寿命化

2. 行政目的別の作業内容及び使用する項目

(1) 未管理浄化槽に対する指導

①未管理浄化槽の抽出

検索機能を使用し、使用中の浄化槽のうち、指定した期間に保守点検、清掃を実施していない浄化槽をそれぞれ抽出する。

【使用する項目】

必須：浄化槽の状況、保守点検年月日、清掃年月日

有用：処理の対象、検査日、補助対象と対象外の区分

②電話、文書、現地立入による指導

- ・電話⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、氏名のリストを出力して電話指導
- ・文書⇒該当する浄化槽管理者の住所、氏名のリストを出力して文書作成、発送
- ・立入⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、住所、氏名のリストを出力し、承諾を得たのちに現地立入

【使用する項目】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、設置場所（住居表示）

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：緯度、経度

(2) 苦情や問い合わせに対する対応

①苦情・問い合わせの対象となる浄化槽の検索・特定

検索機能を使用し、苦情や問い合わせの対象となる浄化槽を特定する。(対象浄化槽の近隣住民からの苦情の場合もあるため、対象浄化槽が設置された建築物の名称等を聞き取ることがある。)

【使用する項目 (浄化槽管理者からの苦情、問い合わせ)】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、設置場所（住居表示）、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：建築物名称

【使用する項目 (近隣住民からの苦情)】

必須：設置場所（住居表示）、浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：建築物名称、緯度、経度

②設置・維持管理状況の確認

対象浄化槽の設置、維持管理状況を確認後、必要に応じて現地立入を実施する。

【使用する項目】

必須：設置、維持管理に関する項目多数

【使用する項目 (立入)】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、設置場所（住居表示）

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：緯度、経度

(3) 法定検査受検促進と不適正浄化槽の改善指導

①未受検浄化槽の抽出

検索機能を使用し、使用中の浄化槽のうち、指定した期間に法定検査を受検していない浄化槽を抽出する。

【使用する項目】

必須：浄化槽の状況、検査日

有用：処理の対象、補助対象と対象外の区分

②未受検浄化槽に対する指導

- ・電話⇒該当する浄化槽管理者の電話番号リストを出力して電話指導
- ・文書⇒該当する浄化槽管理者の住所、氏名のリストを出力して文書作成、発送
- ・立入⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、住所、氏名のリストを出力し、承諾を得た

のちに現地立入

【使用する項目】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：緯度、経度、設置者住所

③不適正浄化槽の抽出

検索機能を使用し、指定した期間に実施された法定検査の結果が「不適正」の浄化槽を抽出する。

【使用する項目】

必須：検査種別、検査日、検査結果

④不適正浄化槽の改善指導

抽出された浄化槽を、不適正となった原因ごとに分類し、指導方法を決定する。

- ・電話⇒該当する浄化槽管理者の電話番号リストを出力して電話指導
- ・文書⇒該当する浄化槽管理者の住所、氏名のリストを出力して文書作成、発送
- ・立入⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、住所、氏名のリストを出力し、承諾を得た

のちに現地立入

【使用する項目】

必須：不適正の原因、設置場所（住居表示）、浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号

有用：（浄化槽管理者と使用者が異なり、使用者に原因がある場合は）使用者氏名、使用者住所、使用者電話番号

(4) みなし浄化槽の合併処理浄化槽への転換

①転換促進の対象となるみなし浄化槽の抽出

検索機能を使用し、転換促進の対象となるみなし浄化槽を抽出する。（設置地区、建築物用途、処理対象人員、使用年数等で優先順位を決定して抽出）

【使用する項目】

必須：処理の対象、設置場所（住居表示）、下水道区域（公共下水道告示済、計画区域内／外）、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置場所の地名地番

有用：建築物用途、処理対象人員、着工予定年月日

②転換促進のための住民説明

- ・電話⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、氏名のリストを出力して電話説明

- ・ 文書⇒該当する浄化槽管理者の住所、氏名のリストを出力して文書作成、発送
- ・ 訪問⇒該当する浄化槽管理者の電話番号、住所、氏名のリストを出力し、承諾を得たのちに訪問説明

【使用する項目】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、設置場所（住居表示）

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：緯度、経度

③特定既存単独処理浄化槽の判定及び指導
(検討中)

(5) 関係官公庁へ提出する統計情報の整理

①浄化槽台帳システムの集計機能の活用

帳票	必須項目
1. 浄化槽新設基数	浄化槽の状況、着工予定年月日 or 浄化槽設置年月日、処理方式、処理対象人員
2. 浄化槽設置基数（旧構造）	浄化槽の状況、処理方式、処理対象人員
3. 浄化槽設置基数（新構造）	浄化槽の状況、処理方式、処理対象人員
4. 浄化槽設置基数（建築物用途別）	浄化槽の状況、建築物用途、処理対象人員
5. 浄化槽廃止基数	処理の対象、浄化槽の状況、廃止年月日、廃止理由、届出種別、廃止の判断根拠
6. 浄化槽法第7条検査関係 検査結果	処理の対象、処理対象人員、検査種別、検査日、検査結果、届出年月日、届出区分
7. 浄化槽法第7条検査関係 検査対象基数	浄化槽の状況、使用開始年月日 or 着工予定年月日 or 使用開始予定年月日
8. 浄化槽法第11条検査関係 検査結果	処理の対象、処理対象人員、検査種別、検査日、検査結果
9. 浄化槽法第11条検査関係 検査対象基数	浄化槽の状況、使用開始年月日 or 着工予定年月日 or 使用開始予定年月日

②浄化槽管理者に対する行政処分等の件数の集計

【使用する項目】

必須：行政処分等の年月日、行政処分等の根拠

(6) 生活排水処理計画等の見直し

①処理形態の見直しを行う区域内に設置された浄化槽の情報整理

処理形態の見直しを行う区域を決定し、その区域に設置された浄化槽の情報を整理する。

【使用する項目】

必須：処理の対象、処理対象人員、建築物用途、設置場所（住居表示）、浄化槽の状況
代用（活用できない場合あり）：設置場所の地名地番
有用：緯度、経度

②集合処理と個別処理の費用比較

見直し対象区域の汚水処理を、集合処理で行った場合と個別処理で行った場合の建設費及び維持管理費を試算・比較し、計画を策定する。

【使用する項目】

①で整理した情報（ただし、集合処理の検討のため、住宅地図情報等が必要）

③各年度における処理形態別人口及び清掃汚泥量の把握

個々の浄化槽データを積み上げ、各年度における浄化槽人口及び清掃汚泥量を算出する。

【使用する項目】

必須：処理の対象、使用人数、清掃年月日、清掃汚泥量

④将来浄化槽人口及び汚泥発生量の推計

③で整理した情報を基に処理形態別汚泥発生量原単位を算出し、将来浄化槽人口及び汚泥発生量の推計を行う。

【使用する項目】

③で整理した情報

(7) し尿・浄化槽汚泥処理計画

①浄化槽汚泥の発生原単位の算出

個々の浄化槽データを積み上げ、各年度における浄化槽人口及び清掃汚泥量を算出し、発生量原単位を算出する。

【使用する項目】

必須：処理の対象、使用人数、清掃年月日、清掃汚泥量

②浄化槽汚泥発生量の将来予測

①で整理した情報を基に汚泥発生量の推計を行う。

【使用する項目】

①で整理した情報

(8) 災害時の早期復旧・適正処理

①災害に向けた事前準備

浄化槽業界団体や維持管理業者と協定等を結び、災害時に浄化槽の対応を迅速に行うための事前準備を行う。

【使用する項目】

必須：設置場所（住居表示）、保守点検業者、清掃業者、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置場所の地名地番

有用：個人設置と市町村設置の区分、緯度、経度

②災害時の状況把握

発災時に浄化槽業界団体や維持管理業者と連携し、浄化槽の稼働状況を迅速に把握する。

【使用する項目】

必須：設置場所（住居表示）、浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、保守点検業者、清掃業者、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：使用者氏名、使用者住所、使用者電話番号

③通常使用が困難である浄化槽の早期復旧に向けた対応

通常使用が困難である浄化槽の型式名等の情報に基づき、早期復旧に向けた対応を浄化槽業界団体及び保守点検業者、清掃業者に依頼する。

【使用する項目】

必須：設置場所（住居表示）、浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所、浄化槽管理者電話番号、保守点検業者、清掃業者、浄化槽の状況

代用（活用できない場合あり）：設置者氏名、設置者電話番号、設置場所の地名地番

有用：浄化槽型式名、浄化槽メーカー、方式名

④浄化槽の適正処理に向けた浄化槽管理者・使用者への対応

被災状況を把握した浄化槽の適正処理に向けて、浄化槽管理者・使用者へ対応方法を伝達する。

【使用する項目】

必須：管理者氏名、管理者住所、管理者電話番号、使用者氏名、使用者住所、使用者電話番号

(9) 機能不全浄化槽の改善

①不具合が疑われる浄化槽の抽出

浄化槽製造番号から、不具合が発生する可能性のあるロットの浄化槽を抽出する。

【使用する項目】

必須：浄化槽の状況、浄化槽型式名、浄化槽メーカー、浄化槽製造番号

②抽出された浄化槽の管理者に対する対応方法の連絡

・文書⇒該当する浄化槽管理者の住所、氏名のリストを出力して文書作成、発送

【使用する項目】

必須：浄化槽管理者氏名、浄化槽管理者住所

有用：保守点検業者名

(10) 公共浄化槽の長寿命化

(環境省浄化槽推進室から情報収集し、使用する項目を整理する予定)